



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年11月8日

上場会社名 ケミプロ化成株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4960 URL <http://www.chemipro.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片木 茂行
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 兼俊 寿志 TEL 078 (393) 2524
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 平成一年一月一日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有・無
 四半期決算説明会開催の有無：有・無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	4,016	0.5	157	1.0	69	16.4	40	△12.8
25年3月期第2四半期	3,998	△16.7	156	△48.1	59	△74.3	45	△42.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	2.42	—
25年3月期第2四半期	2.77	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	13,781	3,829	27.8	231.12
25年3月期	13,086	3,823	29.2	230.78

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 3,829百万円 25年3月期 3,823百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	2.50	2.50
26年3月期	—	0.00			
26年3月期（予想）			—	2.50	2.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有・無

3. 平成26年3月期の業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,400	7.6	340	34.4	150	63.0	60	△51.2	3.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有・無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有・無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有・無

② ①以外の会計方針の変更： 有・無

③ 会計上の見積りの変更： 有・無

④ 修正再表示： 有・無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	16,623,613株	25年3月期	16,623,613株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	55,920株	25年3月期	55,042株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	16,567,926株	25年3月期2Q	16,569,527株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続を実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定等については、添付資料P3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における世界経済は、米国では雇用や個人消費の堅調さに加え、企業の生産活動にも明るさが見えてきましたがその足取りは遅く、欧州でも企業業績の改善は続いたものの勢いは弱い状況でありました。新興国では、中国経済に景気下げ止まりの兆しが出てきましたが、その他新興国のスローダウン基調に変化はなく先行きの不透明感が残り、全体としては引き続き不安感の残る情勢でありました。

一方、日本経済は、昨年来のアベノミクスによる株高・円安や景気刺激策等の効果から回復基調にあります。世界経済の状況も踏まえれば国内外経済全体としては、まだまだ不安定さの残る状況でありました。

当社の属するファインケミカル業界は、国内外経済全体の不安定な状態に加え、主力マーケットである欧州自動車産業の業績回復が遅れる中、売上高ベースでは、引き続き厳しい状況となりました。また、利益面については、円安による一定の改善効果があるものの、中国・アジアマーケットを中心にグローバルな販売価格競争は続いており、依然厳しい状況となっております。

このような状況の下、当社の当第2四半期累計期間の業績は、紫外線吸収剤の主力製品であるベンゾトリアゾール系薬剤の海外向け販売数量は前年同四半期比ほぼ横ばいに推移し、写真薬中間体他の販売が減少する一方、製紙用薬剤等の売上が増加した結果、売上高合計では、前年同四半期比18百万円増加の4,016百万円（前年同四半期比0.5%増）と微増となりました。利益面は、売上高が増加した一方、販売費及び一般管理費も増加し、営業利益は157百万円（同1.0%増）、経常利益は、生産休止費用47百万円を計上したことなどにより69百万円（同16.4%増）となりました。四半期純利益については、法人税等29百万円を計上したことにより40百万円（同12.8%減）となりました。

なお、四半期純利益は平成25年5月10日発表の業績予想30百万円に対し40百万円（33.3%増）となっておりますが、課税所得が予想していた課税所得より減少したことによるものであります。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(化学品事業)

当第2四半期累計期間の売上高は、国内外経済が全体として不安定さが残り、欧州では自動車産業の業績回復が遅れており、紫外線吸収剤の主力製品であるベンゾトリアゾール系薬剤の海外向け販売数量は前年同四半期比ほぼ横ばいと依然厳しい状況で、紫外線吸収剤の売上は、前年同四半期比52百万円減の2,125百万円（前年同四半期比2.4%減）となりました。製紙用薬剤は243百万円（同77.1%増）と一定の伸びがあったものの写真薬中間体等の薬剤での減収もあり、全体では同37百万円増の3,454百万円（同1.1%増）となりました。

(ホーム産業事業)

当第2四半期累計期間の売上高は、木材保存薬剤の売上が前年同四半期比ほぼ横ばいの485百万円（前年同四半期比0.6%増）となる一方、不採算であったD I Y商品から前年の第3四半期に撤退した影響で、全体では同19百万円減の562百万円（同3.3%減）となりました。

(品目別販売実績)

(単位：千円,%)

セグメント別	期別 区分	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		増減 金額
		平成25年3月期		平成26年3月期		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	
化学品事業	紫外線吸収剤	2,177,968	54.5	2,125,192	52.9	△ 52,776
	写真薬中間体	167,613	4.2	122,575	3.1	△ 45,038
	製紙用薬剤	137,233	3.4	243,060	6.1	105,827
	酸化防止剤	130,530	3.3	134,328	3.3	3,798
	電子材料	84,379	2.1	92,165	2.3	7,786
	防錆剤	25,231	0.6	21,595	0.5	△ 3,637
	染料中間体	10,440	0.2	6,266	0.2	△ 4,174
	その他	683,404	17.1	708,980	17.7	25,575
(小計)	3,416,802	85.4	3,454,161	86.0	37,359	
ホーム産業事業	木材保存薬剤	482,533	12.1	485,301	12.1	2,768
	D I Y商品	11,944	0.3	-	-	△ 11,944
	その他	87,380	2.2	77,311	1.9	△ 10,069
	(小計)	581,857	14.6	562,612	14.0	△ 19,245
合計	3,998,660	100.0	4,016,772	100.0	18,112	

(注) 金額は、消費税等を含んでおりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期末（以下「当四半期末」という）の総資産は、前事業年度末（以下「前期末」という）比695百万円増加し、13,781百万円となりました。流動資産は同754百万円増の9,280百万円、固定資産は同56百万円減の4,495百万円、繰延資産は同2百万円減の5百万円となりました。

流動資産の増加の主な要因は、現金及び預金が563百万円、たな卸資産が260百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が86百万円減少したことなどによるものであり、固定資産の減少の主な要因は、有形固定資産が61百万円減少し無形固定資産も4百万円減少したものの投資その他の資産が9百万円増加したことなどによるものであります。

当四半期末の負債は、前期末比690百万円増加し、9,952百万円となりました。流動負債は同346百万円増の6,983百万円、固定負債は同343百万円増の2,969百万円となりました。

流動負債の増加の主な要因は、支払手形及び買掛金の増加280百万円の他、社債150百万円の償還日が1年以内となり流動負債に振り替わったこと等を反映したものであり、固定負債の増加の主な要因は、長期借入金の増加472百万円であります。

当四半期末の純資産は、前期末比5百万円増加し3,829百万円となりました。主な要因は、四半期純利益を40百万円計上したものの、配当金の支払41百万円があったことにより利益剰余金が減少する一方、有価証券の評価差額金が6百万円発生したものであります。この結果、自己資本比率は27.8%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後も日本経済の回復は続くと思われるものの、消費税率の引き上げ等による基調変化の可能性もあり、グローバルには、米国・欧州経済の企業業績改善が緩やかである上に、新興国経済の不透明感は払拭されておらず、まだまだ不安感の残る状況が続くものと思われまます。

当第2四半期累計期間の業績は、平成25年5月10日発表の業績予想に対し、おおむね計画通りの推移となっておりますが、国内外経済の動向も見極め平成26年3月期通期の業績予想について今後見直して参る計画です。

従いまして、平成25年5月10日に公表いたしました数値は変更しておりません。業績予想の修正を決定した場合には速やかに適時開示いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当第2四半期累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,320,323	3,883,538
受取手形及び売掛金	1,898,381	1,811,517
商品及び製品	2,768,453	2,854,384
仕掛品	141,673	127,383
原材料及び貯蔵品	328,935	518,160
その他	81,528	98,525
貸倒引当金	△12,640	△12,623
流動資産合計	8,526,655	9,280,886
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	950,980	931,035
土地	2,832,236	2,832,236
その他(純額)	507,161	465,833
有形固定資産合計	4,290,378	4,229,105
無形固定資産		
	26,727	22,346
投資その他の資産		
投資有価証券	121,890	131,281
その他	132,437	136,749
貸倒引当金	△19,983	△24,436
投資その他の資産合計	234,344	243,593
固定資産合計	4,551,450	4,495,046
繰延資産	8,281	5,984
資産合計	13,086,386	13,781,917
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,136,145	1,416,699
短期借入金	3,900,000	3,900,000
1年内償還予定の社債	—	150,000
1年内返済予定の長期借入金	994,912	977,844
未払法人税等	11,039	36,130
賞与引当金	65,047	53,487
その他	529,561	449,301
流動負債合計	6,636,706	6,983,462
固定負債		
社債	250,000	100,000
長期借入金	1,714,786	2,187,700
退職給付引当金	297,081	313,259
環境対策引当金	2,172	—
その他	361,890	368,311
固定負債合計	2,625,929	2,969,270
負債合計	9,262,635	9,952,733

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,155,352	2,155,352
資本剰余金	1,052,562	1,052,562
利益剰余金	605,971	604,637
自己株式	△13,857	△13,957
株主資本合計	3,800,028	3,798,595
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	23,722	30,588
評価・換算差額等合計	23,722	30,588
純資産合計	3,823,751	3,829,184
負債純資産合計	13,086,386	13,781,917

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	3,998,660	4,016,772
売上原価	3,283,534	3,270,358
売上総利益	715,126	746,414
販売費及び一般管理費	559,077	588,770
営業利益	156,049	157,643
営業外収益		
受取利息	61	90
受取配当金	2,562	2,504
受取賃貸料	2,220	10,039
その他	9,070	9,471
営業外収益合計	13,914	22,105
営業外費用		
支払利息	52,659	49,808
生産休止費用	46,046	47,314
賃貸収入原価	159	8,577
その他	11,710	4,945
営業外費用合計	110,575	110,646
経常利益	59,388	69,102
特別利益		
保険金収入	49,684	—
特別利益合計	49,684	—
特別損失		
事故対策費	32,402	—
特別損失合計	32,402	—
税引前四半期純利益	76,670	69,102
法人税、住民税及び事業税	30,709	29,014
四半期純利益	45,961	40,088

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。